

矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会の開催

～矢作川水防災協議会(国)、矢作川圏域水防災協議会(県)の合同開催～

- 矢作川の洪水から流域住民の命を守り、社会経済被害の最小化を目指す「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組として、国や愛知県管理区間の関係機関、矢作川や矢作川圏域の減災に係る取組方針を策定している。
- 平成30年度では、危機管理型水位計の設置をはじめ、防災・減災に係る取組みを実施。
- 「平成30年7月豪雨」を踏まえ、1月に「緊急行動計画」が改定された。それを踏まえ今回新たに利水ダム管理者である中部電力に参画いただいた。

【開催概要】

日時: 令和元年5月23日(水) 10:00～11:30

会場: 西三河建設事務所 10階 大会議室

出席者: 14市町長、愛知県建設局長、名古屋地方気象台長、陸上自衛隊、中部電力(株)、河川情報センター
その他防災担当者、中部地方整備局 豊橋河川事務所長、矢作ダム管理所長 その他防災担当者
計28機関

【主な議事】

- (国報告) タイムラインの運用の検証、ホットライン運用、危機管理型水位計の設置、洪水情報プッシュ型配信訓練、洪水予報連絡会・水防連絡会の事業計画等
- (愛知県報告) 要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練、みずから守るプログラムの活用、L2浸水想定区域図作成と周知、危機管理型水位計の整備等
- (自治体報告) 要配慮者利用施設向け防災情報の発信、避難訓練、L2ハザードマップ作成状況、出前講座、水位計の運用



豊橋河川事務所長



愛知県建設局長



岡崎市市長



豊田市市長



安城市市長



西尾市市長



知立市市長



高浜市市長

【主な発言内容】

- ・**岡崎市市長**: 今年度は洪水ハザードマップの更新を予定している為、国・県には想定区域図のデータの提供等をお願いしたい。また、ハード対策として上下流のバランスを考慮した早期の河川整備を進めて貰いたい。
- ・**豊田市市長**: 今回、警戒レベルが5段階区分に変更となったが、市民への周知が重要だと思っている。また、矢作ダム再生事業の進行とともに鵜の首の狭窄部の解消等、更なる河川整備促進を期待している。
- ・**安城市市長**: 今年度は手作りハザードマップの作成、実践的な水防訓練を予定している。また、市内の全要配慮者利用施設で避難確保計画の策定に向けた取組を進めている。
- ・**西尾市市長**: 昨年の台風では先を見据えた災害対応が出来たと実感している。志貴野地区河川防災ステーションの整備を着実に進めてほしい。
- ・**知立市市長**: 河川改修、老朽化対策等の早急な防災環境整備が課題と思っている。洪水ハザードマップの更新を行い、市民の危機意識向上に努める。
- ・**高浜市市長**: 要配慮者利用施設向けに、矢作川の洪水情報を「高浜市防災メール」と連携させた。今後は小規模河川においても洪水情報の連携を進めていきたい。
- ・**碧南市副市長**: 昨年の台風24号では早期に避難周知を行った事で、多くの市民が避難された。出前講座や緊急速報メール等、災害情報の充実に努める。
- ・**幸田町副町長**: 新規事業化した菱池遊水地に関し、地元対応などサポートをしていきたい。広田川、相見川の水位計運用開始を望んでいる。